



ガザ攻撃から1年 パレスチナに生命の光を!

—— 現地報告&FREE GAZA 人文字キャンドル ——

12月27日には、イスラエルによるガザ攻撃が始まって1年になります。現在メディアであまり伝えられることはありませんが、封鎖のために支援物資が搬入できないなど、人々は深刻な状況に追い込まれています。攻撃から一年たった今、ガザの人々はどう暮らしていて、私たちはこの問題をどう捉えていけばよいのか。最近ガザを訪れた、ジャーナリストの古居さんの報告や、作家の雨宮さんのトークを交え、パレスチナに希望をもたらすには何が必要かを考える場にしていきます。最後には、皆でガザ支援を求めるキャンドルの光を灯す予定です。

【日時】2009年12月26日(土) 14:00~16:30

17:00前後にキャンドルを灯します

※キャンドルからの参加も可能です。

【参加費】500円

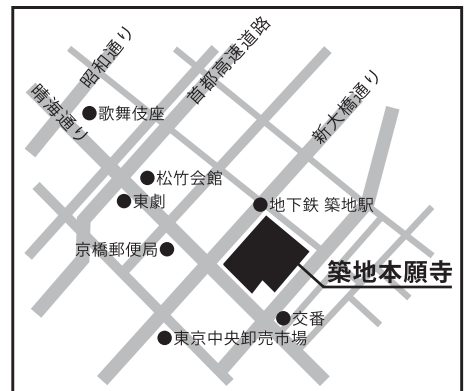
【会場】築地本願寺 第二伝道会館「蓮華殿」

(本堂に向かって一番左手の建物の一階となります)

最寄り駅等は、東京メトロ日比谷線「築地」徒歩1分、都営地下鉄大江戸線「築地市場」、浅草線「東銀座」、東京メトロ有楽町線「新富町」、いずれも徒歩5分。

プログラム

- ガザ攻撃から1年 映像を使った現地報告
古居みずえさん(フリージャーナリスト)
- 対談 パレスチナ人を生きさせろ!
雨宮処凛さん(作家、活動家) × 古居みずえさん
- ガザに入っているNGOスタッフからの生レポート
- FREE GAZA キャンドル ※雨天中止



GUEST



古居みずえ
フリージャーナリスト

アジアプレス所属。JVJA 会員。パレスチナの人々、特に女性や子どもたちに焦点をあて、取材活動を行っている。2006年、映画『ガーダ・パレスチナの詩・』を制作し、石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞受賞、平和・協同ジャーナリズム基金荒井なみ子賞受賞。

◆WEB <http://www.huruim.com/contents.html>



雨宮処凛
作家、活動家

作家。ワーキングプアやプレカリアートという日本の貧困問題に取り組む活動家。「反貧困ネットワーク」副代表。著書に『生きさせろ! 難民化する若者たち』など多数。

◆WEB <http://www3.tokai.or.jp/amamiya/>

【問い合わせ先】

アムネスティ・インターナショナル日本 (03-3518-6777)、アユス仏教国際協力ネットワーク (03-3820-5831)

主催：ガザに光を！実行委員会 ※実行委員会は以下の団体で構成されています。

(特活) アユス仏教国際協力ネットワーク / 社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 / 在日本韓国YMCA / (特活) 日本国際ボランティアセンター(JVC) / 日本聖公会東京教区「エルサレム教区協働委員会」 / 日本YWCA / (特活) パレスチナ子どものキャンペーン / パレスチナの子供の里親運動 / ピースボート / (特活) ヒューマンライツ・ナウ

協力団体：浄土真宗本願寺派築地別院 / 浄土真宗本願寺派東京教区基幹運動推進委員会

キャンドル寄付：NPO 燭光 / 竹の寄付・合同会社ちかけん(地域活性化研究所) web サイト <http://chikaken.typepad.jp/>